



第三話

お寺の犬



むかし、お寺の犬が病気になるんだと。
苦んで苦んで、お寺の松の木の下で、しゃがんでいたんだと。
そこへ猫がお見舞に来たんだと。
「ニャンとした。ニャンとしたや。そんなに苦しいのかやあ」
今度は、鼠ねずみがやってきて、
「チュッとはいいか。チュッとはいいか」
って聞いたんだと。
猫が鼠を見て、追っかけはじめて、木のまわりをぐるぐる、
ぐるぐる回ったんだと。鼠は、
「チュッともしぐねえかあ」
って、聞きながら回ってたんだが、犬は、なかなか返事しなかつ
たんだと。
そして、しばらくしてから、やっと返事したんだと。
「ワンずかずつ、ワンずかずつ、いいや」
ところが、猫と鼠はいつまでも帰んねえで、木のまわりを回っ
てるもんだから、木の上にはいたカラスが、ずっとそれ見てて、
目まわしてやあ、
「ガオッタ（疲れた）なあ、おれ。ガオッタなあ、おれ」
って、飛び立っていったんだとさ。